

「海はプラスチックのゴミでいっぱい」の作者

村越晴仁さんへ

高学年の部「最優秀」賞、おめでとうございます。

村越さんの感想文を読んで、わたしは、数年前にハワイへ行ったとき、オアフ島の海岸で目にした光景をまざまざと思い出しました。

波の打ち寄せる砂浜を散歩していると、赤、黄、白、緑、青……などの細かいかけらが一本の線になって、どこまでもどこまでもつづいていたのです。ハワイの人たちの話によると、昔はそれらは貝からや小石だったそうなのですが、現在ではすべて、プラスチックのかけらになってしまった、ということでした。波が運んできた細かいゴミが、海岸に「ごみの線」をつくっていたわけです。それを目にしたときには、村越さんと同じで、わたしは大きなショックを受けました。

「日本が被害者の時もあれば、日本が加害者の時もある」と書いている村越さんのことばは、日本人全員が胸にきざむべきものだと思います。

地球に住んでいるのは、人間だけではありません。生物を守るために、海を守るために、わたしたちにできることは、なんでもしなくてはなりませんね。

すばらしい作文を書いてくださって、ありがとうございます。

小手鞠るい